

齋藤先生 奥様メッセージ

Q 17日に宮中3-1の56年卒のクラス会をやります。われわれの学年は4年に1度オリンピックの年にクラス会をやっています。今年度は先生が亡くなられて初めてのクラス会なのでメッセージをいただければ。

A それはうれしいことです。あいのさんの時の学年ですね。勉は幸せですね。お葬式の時も、雪なのにたくさんの方に来ていただきありがとうございました。私が死んだ時はだれもお花もそなえてくれないのではと心配です。(笑) 20代後半から30代半ばまでの宮中での時期は主人にとっては自慢の時期だったと思います。「附属と一条中」に負けない学校にしようと教員として一番油ののった時期ではなかったでしょうか。特に皆さんの時は夜中に「ちょっとみんなが勉強してるかどうか見てくる」と夜中の1時・2時にでかけていき、「だれんちの電気がついてた」とか「〇〇が電気はついてるけど影で寝てしまっている」などと細かく私に教えてくれていました。後にも先にもそんなことをしていたのはあの時期だけでした。とにかくいいことばかりたくさんのことを私に話してくれていました。土曜日にクラス会をやることをこれから主人に報告しておきますので出席する皆さんにそれぞれがんばっていただくようお伝えてください。

Q 当時の齋藤先生の裏話などあったら教えてください。

A あの当時、バレー部女子の顧問をしていて体育館のどこかに結婚指輪をはずしておいてしまい、とうとうなくしてしまったんですよ。(根にもっている感じ)
それから亡くなる少し前にオリンピックの年にクラス会をやってくれる学年があるのでリオオリンピックまではどうかな、と話していました。

◎奥様は勉先生のあとをついで、道徳部会の仕事をしており、当日も研修旅行へ行っ
ちようど帰ってきたところだったそうです。お若くはつらつとして、教員として定年後も元気に活動されているようでした。

◎近くのお花やさんでお土産のお花を買う際に、奥様がどんな花が好きなのかを聞くと
ピンクのかわいい花を選んでいただきました。先生のお家の玄関やお庭も花がきれいに飾
ってあって、勉先生が亡くなられたあともお元気な様子がお家からもわかりました。女
性は強いな、とあらためて感じました。

◎お話の途中で少年3人が「こんにちは」と入ってきたのでどなたかをたずねたところ、
お孫さんとそのお友達とのことで、にぎやかで楽しそうに奥様が笑っていたのが印象的
でした。